

平成 22 年度 IT ストラテジスト試験 午後 II 論文 組込み問題の合格体験記

平成 22 年度合格者 村形 鉄雄

簡単な業務経歴ですが、元々は通信装置の設計エンジニアでいわゆる「ハード屋さん」でした。その後、携帯機器や IC カードの組込みソフト開発に携わりましたが、今は独立し開発から離れた状態です。平成 22 年の秋試験に合格してから 3 年後に記載しているので、詳細な内容はもうほとんど覚えていませんが、少しでも今後受験される方の参考になれば幸いです。

1 冊の参考書だけで受験対策

当時は既に AP は合格していたので、午前 I は免除。では、どの試験区分を受けようかと考えました。順序では NW や SA か？とも思いましたが、今後の活動領域（独立した時期でした）を考慮すると ST が最適と判断して、受験を申し込みました。

試験日まで特に計画立てて勉強はしませんでした。ちょうど身の回りがバタバタとあわただしかった時期でもあり、計画を立てても遂行できなかつたでしょう。その代わり 1 冊だけ参考書を購入して、それを細切れに読みこなすというスタイルにしました。他の資格試験にも言えることかもしれませんが、参考書を何冊も揃えることが自分の場合には合っていないことだけは自覚していたのです。

午前 II の対策をどのようにしたかという記憶は、今となってはありません。もし参考書に記載があったなら目を通したはずですが、それよりは午後 I と午後 II の方を重視したと思います。論文系の受験は初めてなので、記述のポイントだけは外さないように意識付けをしました。

午後 I は業務経験の分野を活かす

さて、試験当日。午後 I について当時の問題を振り返ってみます。下記の 4 問からの 2 択でした。

- 問 1 卸売業者における物流センタの統合による業務改善
- 問 2 エンジンメーカーの生産関係のシステムの見直し
- 問 3 電鉄会社の情報システム子会社における情報技術を活用した新事業
- 問 4 電機メーカーの事業展開

事例と設問をざっと見て、速攻で問 4 を選択しました。理由は、問題の内容が通信系かつ組込み絡みであるため、自分の経験に照らして最適分野であったからです。もう 1 つの

選択は問1にしました。物流の業務改善関係であり、比較的直近で類似業務にいろいろと携わったことがあるためです。物流については午後IIでもテーマで用いました。

午後IIはSTの立場を重視して論述

午後IIは下記の3問中からの1択です。

問1 事業環境の変化を考慮した個別システム化構想の策定

問2 情報システムの追加開発における業務の見直し

問3 既存製品の性能向上、機能追加を目的とした組込みシステムの製品企画

問1の問題文を読むと「個別システム、変化に柔軟な対応、SaaS、SOA」と旬なキーワードが並んでいます。これなら何でも書けそうです。応用できるエピソードもありますが、選択する人も多いだろうと考え、ひとまず保留にして次を読みました。

問2は「追加開発による業務見直し」です。これをST試験で記載するのは危険と直感しました。なぜなら、この内容はプロジェクトマネージャの立場で書いてしまいがちで、時間の制約上、やり直しができないからです。これなら問1がまだマシかな？と優先順位を考えつつ問3を読みました。

問3は「組込みシステムの製品企画」です。設問をパラッと見た瞬間にこれに決めました。即決です。応用エピソードはありますし、ST的な役割をしていましたから、問2のような立場がずれる書き方もしないですみそうです。少しだけ専門用語を盛り込んで、差別化と現実感をうまく表現しようと考えました。経営層や、他社などのステークホルダー側との関わりを中心に持っていく構成で書こうという意識だったと思います。技術に関する議論は、設問部分のみに抑えるように心がけました。

設問意図が明確な組込み問題

振り返れば、合格の分かれ目は午後IIの論文ではなく、午後Iの記述問題でした。結果を見ると、それほど高い点数を取れたわけではなく、足切りまでけっこう余裕がなかった覚えがあります。

それでも、組込み系の設問は、他より明らかに設問意図が明確でした。組込み開発の経験者ならば、明らかに有利だと思います。

(注) AP = 応用情報技術者試験 NW = ネットワークスペシャリスト試験、
SA = システムアーキテクト試験 ST = ITストラテジスト試験